

ボーイスカウト渋谷地区大会 地区ラリー実施要項

目的 : 地区内スカウトの技能向上と友好親善
 テーマ : 「班のチームワーク」・「防災」
 期日 : 2000年2月20日(日)
 集合 9:00 旧渋谷小学校体育館
 (渋谷1丁目、明治通から見て児童会館の先、正式名称はケアコミュニティ
 美竹の丘 1F ホール、03-3486-4594)
 解散 16:00 同
 場所 : 渋谷区内(宮下公園、神宮通公園、代々木公園周辺)
 内容 : 区内のチェックポイントを班ごとに回り、得点を競う
 携行品 : ハイキング用品、地区ネッカチーフ、弁当、水筒
 使用地形図 : 1/10000 渋谷、新宿
 対象 : 班対抗選手権にエントリーした班の渋谷地区のボーイスカウトおよび指導者
 参加班 : 16班(予定)
 参加費 : 1人 500円(予定)
 主催 : ボーイスカウト渋谷地区協議会 共催 : 渋谷区教育委員会

班対抗選手権エントリー

No .	団	班名	参加人数			
			選手権 登録	参加 申込	ラリー 参加者	Start 順
1	1	ホークス	9	9		
2	3	モンキー	5	4		
3	5	トキ	15	6		
4	5	オオルリ	13	6		
5	5	ヤマセミ	13	4		
6	5	ヤマバト	13	6		
7	9	シャーク	5	4		
8	9	ワニ	5	5		
9	13	ワシ	*6	4		
10	13	トラ	*5	4		
11	14	トナカイ	7	5		
12	14	フクロウ	6	5		
13	6	タカ	5	4		
14	6	ライオン	5	4		
15	10	ウィリーキャッツ	6	5		
16	10	ストロベリー フィールズ	4	0		
小計			122	75		

**上進前のデータ

指導者役務分担

(*印委員長または責任者)

指導者役務分担

プログラム部門 企画委員長：*蒔田(3)、井口(13)、木下(5)

セレモニー・スタート：*近藤(10)、鹿浜(10VS)

1「伝える」：*井口(13)、花淵(1)、神村(1VS)

2「水を得る」：*只野(14)、武田(9)、高橋(9VS)

3「救急」：*蒔田(3)、蒔田(3VS)、浅井(3VS)

4「冷静な判断」：*柏木(5)、佐竹(5)、鈴木樹(5)

5「ロープワーク・手旗」：*池田(14)、福嶋(14)、三反田(14)

6「地図とコンパス」：*吉田(9)、戸張(5)、小谷野(5)

7「キムス」：*平賀(10)、北原(10)、浜中(10VS)

8「防災クイズ」・ゴール：*木下(5)、近藤(10)、**鹿浜(10VS)

「友情・チームワーク」：*安海(14)、酒井(3)、牧野(3VS)

**スカウト同行(1人班がある場合)：鹿浜(10VS)

業務部門

本部：秋澤(1)、木下(5)、安海(14)、石井(6)、杉山(5)
長谷川(13)、近藤(10)、鹿浜(10VS)

受付：ポイント担当以外で早く来た指導者

備品(地区)：*只野(14)、安海(14)

輸送：安海(14)、杉山(5)

事故対応：*杉山(5)、秋澤(1)

健康安全：*安海(14)、石井(6)

記録(写真)：長谷川(13)、杉山(5)

ワッペン：*長谷川(13)

賞品・表彰：*平賀(10)、只野(14)、近藤(10)

評価基準：*柏木(5)、藤田(14)

会計：木下(5)

参加スタッフ

指導者：23名

花淵(1)、酒井(3)、蒔田(3)、佐竹(5)、杉山(5)、小谷野(5)、鈴木樹(5)、戸張(5)、
柏木昭(5)、木下(5)、石井(6)、武田(9)、吉田(9)、平賀(10)、近藤(10)、北原(10)、
長谷川(13)、井口(13)、安海(14)、福嶋(14)、只野(14)、池田(14)、三反田(14)

地区役員：1名

秋澤(1)

上班・隊付：7名

神村(1VS)、浅井(3VS)、蒔田(3VS)、牧野(3VS)、鹿浜(10VS)、浜中(10VS)、高橋(9VS)

計 31 名

詳細プログラム

スケジュール

2 / 20 (日)

- 8 : 30 スタッフ集合 (旧渋谷小学校) 打ち合わせ、時計合わせ
- 8 : 45 受付開始 (ポイント担当以外、名簿・報告書チェック)
ポイント準備開始・移動 (*安海・2, 7ポイントは車、他は徒歩)
セレモニー準備 (国旗等)
- 9 : 00 集合・荷物整頓
- 9 : 10 開会セレモニー (*近藤)
(整列、国旗儀礼、連盟歌、石井地区副委員長の話、木下副コミの話)
- 9 : 30 説明・諸注意 (*近藤)・・・指令配布、スタート順発表
- 9 : 40 スタート開始 (*近藤)
2分間隔で2班ずつ。受付順で異なる団同士組合せ。
最初の目的地は3, 4, 6, 7へ割り振る。
1 - 3 (1番スタート3ポイントから), 1 - 4 (9 : 40)
2 - 6, 2 - 7 (9 : 42)
3 - 3, 3 - 4 (9 : 44)
以下同様、8 - 6, 8 - 7まで、以後回る順序は自由。
時間待ちの班：友情ゲーム用名札作り (*酒井)
- 9 : 54 最終スタート
ラリー時間3時間50分 (内昼食30分)
途中昼食 (11 : 30 ~ 12 : 30に最寄りのポイントで)
各ポイントの詳細は別紙
スタッフによる巡回 (*安海) 点数集計 (*近藤)
午後プログラム準備 (12 : 30頃、*木下、*安海)
- 13 : 30 始発グループ帰着予定
- 13 : 15 ~ 30 各ポイント (3以外) 終了、ポイント回収 (?)
- 13 : 44 最終グループ帰着予定、3ポイント終了
到着次第、第8ポイント課題 (*木下)
時間待ちの班：アンケート、友情ゲーム用名札作り (*酒井)
- 14 : 10 ラリー終了
- 14 : 20 友情ゲーム (*安海)
得点集計 (*近藤)
(表彰状・成績表作成)
- 15 : 20 清掃
- 15 : 30 表彰・閉会式 (*近藤)
(整列、講評 (*安海) 結果発表 (*蒔田) 賞品授与 (石井)・祝福、
国旗儀礼、歌、解散)
- 16 : 00 終了・参加賞配布 (ワッペン、班名図鑑)
備品返却

3 / 2 (木)

- 19 : 00 円卓会にて反省会
- 21 : 00 慰労会 (予定)

豪雪時スケジュール

J R が止まっている場合は、7 : 0 0 までに各団に中止の連絡。

積雪時スケジュール

積雪によってポイント設置が困難な場合、8 : 4 5 までに以下のスケジュールに変更。

- 9 : 3 0 説明・諸注意 (*近藤) これ以前は晴天時と同じ
- 9 : 4 0 体育館内にて各課題の実施
 - 午前の部開始
 - 第1ポイント「伝える」(*井口、30分)
 - 第2ポイント「水を得る」(*只野、30分)
 - 第3ポイント「救急」(*蒔田、30分)
 - 第5ポイント「ロープワーク・手旗」(*池田、30分)
 - 午前の部途中で突然に第4ポイント「冷静な判断」(*柏木、20分)
- 12 : 0 0 昼食
- 12 : 5 0 午後の部開始、集合 (*近藤)
 - 第6ポイント「地図とコンパス」(*吉田、30分)
 - 第7ポイント「キムス」(*平賀、20分)
 - 第8ポイント「防災クイズ」(*木下、20分)
- 14 : 0 0 アンケート、友情ゲーム用名札作り (*酒井)
- 14 : 2 0 友情ゲーム以下は晴天時と同じ

安全面・非常時の対応

- 集合時 名簿の作成、天候の判断
- 出発時 諸注意、命のつな配布
 - 小学生1人の班は、まとめて鹿浜(10VS)または牧野(3VS)が同行、課題は別々に
- 非常時 命のつなを開き4 C P 柏木(090-8175-2680)に電話連絡
 - 柏木より本部・杉山(090-3086-1102)に連絡
 - 事故対応 (*杉山、秋澤) および健康安全 (*安海、石井) が対応
- 平常時 事故対応、健康安全、記録担当者が適宜ポイントを巡回
 - ポイント担当者は通過状況を適宜本部に報告
- 終了時 14:20 までに到着しない班は事故対応担当者を中心に搜索
- 問合せ プログラム上の疑問点の問い合わせは以下の連絡先に

緊急連絡先

- | | | | | |
|-------|-----|---------------|-------|-------------------|
| 本部 | ：安海 | 090-3231-7803 | 木下 | 090-4936-3396 |
| | 秋澤 | 090-3420-2205 | | |
| | 杉山 | 090-3086-1102 | | |
| 1 C P | ：井口 | 090-8725-7786 | 2 C P | ：只野 090-4702-0126 |
| 3 C P | ：蒔田 | 090-2163-3636 | 4 C P | ：柏木 090-8175-2680 |
| 5 C P | ：池田 | 090-1502-2133 | 6 C P | ：吉田 090-8462-9502 |
| 7 C P | ：平賀 | | | |

チェックポイントでの注意事項

1. 通行の妨げにならないように配慮する。
2. スカウトの安全に配慮する。
3. 11:30～12:00にポイントにいる班には適当な場所で昼食をとらせる。

第1, 5ポイントは第6ポイントにて指示。第2ポイントは第4ポイントにて指示。

各ポイント詳細

第1ポイント(1CP)「伝える」

担当：*井口(13)、花淵(1)、神村(1VS)

このゲームは、人間にとって簡単な伝達手段である、ジェスチャーと大声と言うものを組み合わせたものになりました。そして、ゲーム内容は、まず班が到着したら、班を二つに別けて、ジェスチャーをする人と、それを答える人とは別けます。そして、決まったら、50メートル程離れて、ジェスチャーを答えてもらいます。その際、離れているため、ジェスチャーをするときには、道具を使っても良いことにします。そして、答える側も相手に効率良く伝えられる為に道具をつかってよいことにします。

また、ジェスチャーの内容は、火事、飲料水、地震、防寒着、骨折、救助、混乱、苦しむ、食料、消火、安全、老人、避難、危険、等の単語を、決められた時間内で、何個できるかを競ってもらいます。そのとき、班を2班にわけて、交代でジェスチャーと、答える側をやってもらいます。そして、得点のつけかたは、基本的には、ジェスチャーを解いた時間できめます。そして、時間は以下のとおりです。

0分～3分	8
3分1秒～4分	7
4分1秒～5分	6

以下1分ごとに1点ずつマイナス。

そして、2点はどれくらい工夫したかできめます。(10点満点の時)

このようになります。計測時間は、2班に別けて説明し終わった状態から始まります。おおまかな説明は以上です。そして、問題点は、人数の差により解答の速度の差が生まれるということだと思います。そこで、人数により、多少の難しさの調整や、人数により、変更するということをおこなっています。

第2ポイント(2CP)「水を得る」

担当：*只野(14)、武田(9)、高橋(9VS)

<ポイント概要>

2つの点で採点します。

到着した班は、当日ポイントで示されるヒントを元に”ろ過器”に適する材料をあらかじめ用意されている写真の中より選ぶ。(5pts)

次に、与えられた材料(3-5種)を組み合わせ、ろ過器を作成し、そこから得られる水の透明度でポイントが与えられる。(5pts)

<詳細>

前半部の[写真より適材を選択する]では、ポイントにあらかじめろ過器に適する材料、適さない材料の写真または図柄を用意しておきます。各班は、その中よりろ過器に適する材

料を選びます。(配点：5点)

後半部では、その場で与えられる材料(ペットボトル、ストッキング、脱脂綿 etc...)で実際にろ過器を組み立て、泥水を注ぐ所までを行います。(ろ過水を得るには時間がかかるため、ろ過器が完成した時点で各班は次のポイントを目指して出発します)

全班的ろ過水が得られたあとで、透明度の一番高い班に5点、次に高い班に4点

・・・と加点します。(配点：5点)

第3ポイント(3CP)「救急」

担当：*蒔田(3)、蒔田(3VS)、浅井(3VS)

場所：宮下公園(渋谷駅寄りを使用予定)

内容：状況設定をしておき、そのときに必要と考える

応急処置をしてもらう。なお、班員1名が負傷者役をしてもらう。使用するものは自分たちの持っているもので代用する。

状況：関東地方で大地震が起き、多くの被害が出ていた。そんな中君たちは、地区からの要請を受けて被災地の見回りをしていた。すると道の真ん中に人が倒れていた。見ると外傷は右手前腕からの出血。話し掛けてみると意識はあり、呼吸もしっかりしていた。しかし話を聞くと左足の頸骨が骨折している恐れがある。この状況において応急処置をして、安全な場所まで負傷者を運搬してほしい。

採点：(多い班は、3～5人のグループに分けて平均点を出す。)

*三角巾の使用法が目的と条件を満たしているか。(ボーイスカウト救急法)

1点 <ガーゼを固定して傷を保護し、患部の安静をはかる>

2点 <適当な圧迫により、出血を止める>

2点 <副子を固定する>

*搬送

1点 <骨折している恐れがあるので、注意しながら状態も気にして搬送している>

1点 <道の中という設定なので道から出して処置したか>

*時間

2点 <作業開始から10分以内(15分以内は1点、20分を越えた時点で作業終了で0点)>

*総合

1点 <協力して活動できているか>

第4ポイント(4CP)「冷静な判断」

担当：*柏木(5)、佐竹(5)、鈴木樹(5)

目的：人は、災害などに直面した際に、どのように行動するのだろうか？

そこでは、いかに冷静でいられるか、冷静に行動できるか、これが自分たちのその後を大きく左右する一つの要因となる。

ボーイスカウトにおいてもこれと同じことが言えると思う。緊急時に冷静に判断し、班員全員で行動することは、自分たちの行く先を大きく左右するものである。そこでこのポイントは、スカウトが緊急時にどれだけ冷静に判断し行動するかを評価するポイントである。

場所：代々木公園参宮橋門内駐車場脇トイレ前

内容：1. スタート前にスカウトには以下の文書の入った封書を渡す。

緊急連絡が必要な場合開封せよ！

* 以下の番号に連絡せよ *

* 090 - 8175 - 2680 *

2. 事前に知らせてあるポイントには、以下の看板を設置。

* ボーイスカウト渋谷地区ラリー参加スカウトへ *

* 緊急事態が発生したので、リーダーは急に移動しなくては *

* なくなりました。このポイントを離れます。 *

* 状況によると人手が必要になるかもしれません。 *

3. トイレ前がよく見える場所から監視し、ポイント到着時刻を記録

4. 2の文章を読んで、緊急の場合の連絡先へ連絡してきた時刻を記録

5. 3～4にかかった時間を評価

評価： 0分～ 5分... 8点

 5分～10分... 6点

 10分～15分... 4点

 15分～20分... 2点

 20分～ ... 0点

・携帯電話からの連絡は - 1点

・電話の対応にて、緊急事態に関する事柄については各 + 1点

(応援、状況把握、など)

第5ポイント(5CP)「ロープワーク・手旗」

担当：*池田(14)、福島(14)、三反田(14)

スカウトにはロープか手旗のどちらかを到着時点に選んでもらうことにしました。

両方やっても10点満点だとエグイだけのポイントになりますからね。

ロープ

到着時点でスカウトに課題として出される10種類の結索をカードを渡す。約5分間練習をしてもらい、リーダーに余裕があればどんなときにその結索を使うのか説明する。練習後にカードを回収し、結索を使った簡単なリレーを行う。一人のスカウトがスタート地点から約10メートル先のリーダーの所に行き、先ほどの結索が書いてあるカードを10枚のうち1枚を選ぶ。その結索を完成させチェックを受けると1点もらえる。スカウトは順番にリレーを行うが、基本的に一人一回。もし10人より少なければ、重複OKとする。もし分からなければ、スタート地点に戻って他のスカウトに教えてもらうことができる。分からなければパスをすることができるが、パスをすれば自動的に1点減点となる。5分の制限時間を設けて、終了時点までにいくつできるかを競う。

手旗

到着時点でスカウトに原画の表を渡し、約5分間で覚えてもらう。表を渡したまま、リーダーが約20メートル離れたところから20桁の数字を手旗でうち、スカウトにそれを記録させる。採点は減点法で行う。基本的に一度しか手旗はうたない。スカウトの人数が少ない班にはゆっくりうつようにする。最後に表を回収する。

用意するもの

ストップウォッチ、結索のカード、手旗の表、リーダー用手旗

結索の種類は本結び、8の字結び、一重つぎ、もやい結び、引きとけ結び、てぐす結び、巻き結び、ねじ結び、ちぢめ結び、トートラインヒッチにしようと思います。カードに使う絵は『進歩の手引き』にある絵を拡大コピーしようと思います。手旗の数字は適当でいいので当日にでも決めます。

第6ポイント(6CP)「地図とコンパス」

担当：*吉田(9)、戸張(5)、小谷野(5)

ポイントの場所： 代々木公園への横断橋前

ポイントの目的：

読図というのはハイキングなどに不可欠なスカウト技能であり、また、防災時など非常の時、特に知らない場所にいたときなどは、"地図を読める"という事がずいぶんの助けになるでしょう。よってこのポイントでは読図の技能を見るということで、示された座標地点にいかに早く行けるかを競います。

ポイントの内容

具体的には、このポイントに来たところでそれまで隠してあった代々木公園内2つのポイントを座標で指示します。この2つのポイントを通じた後に戻ってきてもらい、その全体のタイムからポイントで費やした時間を差し引いた時間を移動に費やしたタイムとして、評価の対象とします。

第7ポイント(7CP)「キムス」

担当：*平賀(10)、北原(10)、浜中(10VS)

場所； 小田フィールド駐車場出入り口

目的； スカウトにキムスゲームをしてもらうことで、災害時の記憶力の重要性を知ってもらうとともに、防災に対する意識を深めることをこのゲームの最大の目的とする。

ゲーム内容； 防災に関する小物24品(頭きん・三角巾・乾パン・ロープ・時計・小銭・缶詰・雨具・懐中電灯・ホイッスル・救急道具・軍手・ナイフ・ラジオ・マッチ・ポリタンク・衣類・ノート・電池・地図・裁縫道具・水・はんごう)でゲームを行う。

スカウトに以上の品物一つずつ見せ、記憶してもらう。すべての紹介が終わったところで、解答に入るのだが、その前に、3分間私がスカウトに対して、「おはなし」をする。その後、スカウトに解答してもらう。

解答方法； 解答は個人単位で行い、各人が紙に自分が記憶できたすべての物を書いてもらう。

その際に、仲間との相談・協力は無しとする。つまりゲームは終始無言で行われるのだ。

評価； 参加グループによって、人数が違うので各人に解答してもらった紙を集計し、平均点で評価する。少数点以下切り捨て。

点数；24品目正解が10点、22品目から23品目正解を9点、以下正解数が二つ減るごとに一点マイナス。

1品目から7品目正解を1点とする。

10点得るのはかなり難しいだろう。

第8ポイント(8CP)「防災クイズ」

担当：*木下(5)、近藤(10)、鹿浜(10VS)

場所：旧渋谷小学校体育館

開設時間：12:30～14:15

他のポイントを回って戻ったら、時間をチェックし、問題用紙を渡す。

形式：ペーパーテスト選択肢４ - ５択、２０問

問題例：あなたならどうする？、防災用品の使い方、渋谷区の広域避難場所、日本の災害など。

正しいものに丸をつける。例えば、

１．大地震が起きたとき、いつ避難場所に避難したらよいか。

A．ゆれが収まったらすぐ B．大きな火事が近づいたら

C．余震が来そうだったら D．避難する必要はない

解答法：全員で相談してよい。制限時間１０分。

採点：正解数を２で割って切り捨てたもの。１０点満点

用意するもの：問題用紙・解答用紙、時計

一人一人にやらせてもよいのですが、黙々と問題用紙に向かう図というのも寂しいので、班で協力してよいことにしました。

友情ゲーム

担当：*安海(14)、酒井(3)、牧野(3VS)

お互いの友情を深めるのを目的にするので

班対抗の得点には加算しない。

設問とその評価がポイントです。

全体備品

- ・国旗、地区旗（安海）

- ・文房具

特にマジック（安海）、模造紙、定規（木下）、計算用紙、新聞紙

- ・カメラ、フィルム（木下）

- ・受付用名簿用紙（木下）

- ・スカウト配布用

集成地図、指令書、採点記録表、アンケート（以上木下）、命のつな（柏木）

- ・賞品・参加賞

１位賞品（平賀）、賞状（只野）、班名図鑑（木下）、ワッペン（長谷川）